

第 18 年度 事業計画

事業の目標

「まちに子どもとともにだれもが育ちあえる人があふれるように。活動での人間浴から、地域の隅々まで人間浴ができる環境に。」

これまで文化・体験の機会づくりを、ひとつながりの育ちのなかで年代別、関心別、状況別の多様な活動を展開してきました。そのような状況のなか活動に参加者があつまらない、資金や人手が不足するという課題にも向き合いながらこれまで活動を支えていただきました。一方で地域や社会も私たち同様、課題にぶつかっており、近年は他が取り組む活動を支えることも増えています。そのなかで、「地域のすべての子どもたち」ということに立ち返ると、主催事業だけでは受け止められない数の子どもたちに、子どもがすでにいる場に活動を届け直すことが求められてきています。主催事業はもちろんですが、さらに機会が生まれる場を増やす、届ける、ともに創るということです。

また活動の対象の範囲もこの 35 年間で、共助・共益から公益、そして公助・公益へと広がっています。これは NPO としての宿命でもあると思います。それにともない活動を支える人も幅広くなっています。

しかし活動の時間の流れのなかで、これまで「暗黙の了解・知識」として、長く活動に関わる方、強い思いで活動をしている方の中にある「山科醍醐こどものひろば」の思いやルール、ノウハウ、活かし方が徐々に伝わらなくなってきました。その点では、あらためて参加のルール、楽しみ方、活かし方の可能性を示すことが求められています。

これらを踏まえ、山科醍醐こどものひろばでは下記の点を充実させ、これまで以上に、子どもたちが豊かに育つことができる環境づくりに取り組んで参ります。

- ①山科醍醐こどものひろばがだれもが活かせる方法の打ち出し
⇒活動をしている人がまずは安心して活動できるように。
- ②子どもが安心してふれあえる人がまちにあふれるアクション
⇒地域・社会の子ども・家庭の状況の把握。
⇒活動の届け直し。地域で活動する人たちにひろばの思いを伝える。
⇒活動をつくる人たちが関わり方、活動の作り方が学ぶ機会づくり
- ③活動実施場所の拡大（開催エリアを意識）
- ④ボランティア中心事業と専門性が必要な事業など各事業の連携
- ⑤地域連携（全事業）・訪問型活動（特に課題解決型事業）の充実
- ⑥会員・ボランティアの交流強化（会員数を増やす。）
- ⑦全小学校区で子どもと出会う仕組みづくり

第18年度 各事業計画

	事業内容	実施日時	実施場所	従事者 (スタッフの 人数)	対象者の範囲 定員 参加人数	当初の予算額 (千円)
舞台芸術 鑑賞活動	第8回山科醍醐こどもの創作劇公演 ※予算などは子どもが自ら創る体験事業の山科醍醐こどもの創作劇の項目参照	11月19日 11月20日	京都市東部 文化会館	4	地域の子どもと大人 500人	—
子どもが自ら創る体験活動事業	Jr. キャンプ 小学生3年～中学3年対象の2泊3日のキャンプや年間を通じての野外体験活動を行う。	通年	地域一円	7	地域の子ども 40人	450
	こどもフェスタ 当法人主催の子ども主体の「祭典」を実施する。	9月18日 4月30日	東本願寺山科別院	100	地域の子どもと大人 6,000人	—
	わんぱくクラブ 幼児・低学年の子ども達が、舞台鑑賞や野外活動を実施する。	通年	地域一円	15	地域の子ども 30人	850
	山科醍醐こどもの創作劇 小学生から大人までの参加者が創る創作劇の実施や、ワークショップを行う。 ※京都オムロン地域協力基金	通年	京都市東部 文化会館・ 京都橋大学・社 会福祉法人同和 園他	10	地域の子どもと大人 のべ480人	1491 (助成金150)
	町たんけん 地域を知り、その中の出会いから人と人がつながり、より良い地域になることを目指す。山科を愛する子どもを増やす手段として、「山科かるた」を普及させると共に、ガイドブックを有効活用できるように活動していく。(京都府地域力再生プロジェクト支援事業交付金を予定)	通年 小学生との町たんけん活動は夏～春	地域一円	12人 (スタッフ・ ボランティア・ 講師)	地域の子どもと大人 のべ2000人	599 (うち244はかるた 再版用積み立て金) (助成金115予定)
子育てサポート事業	あそびっこクラブ 未就園児を持つ親と、その子ども達のサポート活動。地域の保育所やお寺を会場にして活動する。同窓会として親子で集う場を設ける。	通年	地域一円	3	家族12組	202
	げんきスポット0-3(ゼロさん) 未就園児を持つ母と、その子ども達のサポートを常設会場「げんきスポット」にて実施する。屋根のある公園を目指す。 ※京都市の委託事業	毎週火～土曜日	げんきスポット	11	地域の子どもと大人 のべ6500人	4,942 (委託金4562)
	楽習サポートのびのび 集団活動が苦手なこどもや、学習機会の少ないこども、また経済的等の理由で体験活動の機会がないこどもへの個別(生活・学習・余暇)支援事業。	通年	地域一円	40人	地域の子ども:の べ200人	—
	子どもの貧困対策事業 集団活動が苦手なこどもや、学習機会の少ないこども、また経済的等の理由で体験活動の機会がないこどもへの個別(生活・学習・余暇)支援事業。 ※京都地域創造基金事業指定助成事業	通年	地域一円	40人	地域の子ども:の べ200人	6301 (助成金4700)

	事業内容	実施日時	実施場所	従事者 (スタッフの 人数)	対象者の範囲 定員 参加人数	当初の予算額 (千円)
子育てサ ポート事業	山科醍醐地域ひとり親家庭等へ の生活・学習・居場所サポート事 業 伏見区醍醐・小栗栖地域を中心 に、小学校高学年の子どもとその 家族へのサポートを行う。 ※京都府委託事業	通年	地域一円	40人	子ども: のべ200人 保護者: のべ15人	6473 (委託金4,900)
	外部保育受入事業 外部団体からの保育依頼を受け いれる。	通年	京都一円	5	—	—
	ほっとタイムえんびつ 小学校放課後事業。 子どもたちの放課後の居場所作 り。	通年	小栗栖小学校・ 醍醐事務所	5	3人	—
ボランティ アサポー ト事業	ボランティア・研修部 ボランティア希望者の、各事業へ のコーディネートを行なう。 ボランティア活動に参加する際 の、子どもとのかかわり方や、参 加者が希望する内容の研修会を 定期的実施する。	通年	当法人事務所	4	—	25
	講師派遣・インターンシップ受入事 業 当法人スタッフの講師派遣及び当 法人におけるインターン希望者の 受入を行う。	通年	地域一円	4	—	—
	のびのび@たいむ のびのび事業の利用を終えた高 校生等の居場所とボランティア推 進事業。	通年	地域一円	5	のべ60人	—
広報・出版 事業	コッペパン 広報誌「コッペパン」の発行。 ※山科区社会福祉協議会助成事 業	季刊	—	2	1,000部を4回	42 (助成金30)
	ひろばつうしん 会員向け情報誌「ひろばつうしん」 の発行。 イベントや活動の参加募集チラ シ、外部団体のチラシなども発 送。	月刊	—	—	150部を12回	—
	ひろばの本 「貧困とひとりぼっちのないまち」 の頒布を通じて、ひろばの広報や 社会への啓発を進める	通年	—	—	—	324
	サポートBOOK 「子どもの貧困課題に地域で取り 組む支援者のアクションサポート BOOK」の頒布、活用。 読書会の開催。	通年	—	—	—	600
	ホームページ 当法人におけるホームページの定 期的な更新情報の発信及び、基 本情報の公開を行う。	通年	—	—	—	—

	事業内容	実施日時	実施場所	従事者 (スタッフの 人数)	対象者の範囲 定員 参加人数	当初の予算額 (千円)
ネットワーク づくり事業	分野連携ボランティアネットワーク 事業 当法人登録ボランティアと子ども 分野の活動団体とのネットワーク づくりを行う。	通年	-	-	-	-
	山科子育て応援団 社会福祉協議会を事務所として山 科で子育てサークルや子育て支 援をしている諸団体との交流を行 う。子育て支援サロンを開催する。	5月 ～ 3月 年間10回	社会福祉協議会 他	13 (ひろば内3)	のべ300	-
	遊びのアウトリーチ事業 小学校の放課後に、大学生や地 域の方と遊びを通して、関わる機 会をつくる。	通年	地域小学校	1	のべ400	150
	勸修中学校区 こどもの学びサ ポートプロジェクト 山科青少年活動センター、山科区 社会福祉協議会、勸修中学校等 連携事業	通年	勸修中学校区	1	-	-
	だいが中3勉強会 生活保護受給者中学生学習支援 プログラム。	通年	醍醐事務所	15人	6人	180
	みんなの家 フリースペースとして開放。 (主催:社会福祉協議会)	第1、第3、第5 月曜日	こども生活支援セ ンター	2	-	-
	企業との連携 企業からのボランティア体験の受 け入れや、イベントでのボランテ ィア呼びかけなど。	通年	-	2	-	-
	らんらんおでかけひろば 会員間の交流を図るためのお出 かけ企画。	通年	-	2	のべ50人	6
	ロータリークラブとの合同イベント	-	-	-	-	-
	新法人立ち上げ事業	通年	-	-	-	-